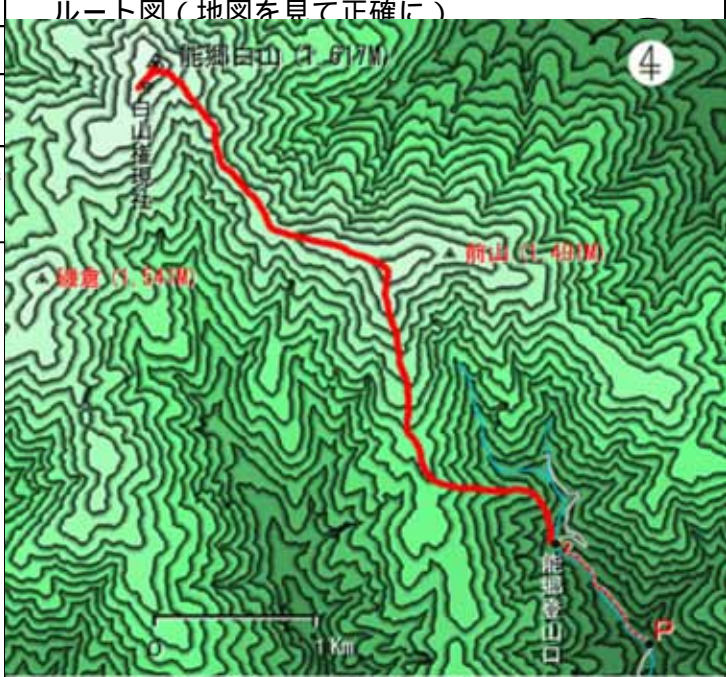


| | | | | | |
|---------------------------------------|---------------|-----|------------------|------------|--|
| 04月度 例会 個人 山行報告書 | | 報告者 | 天野 広 | 参加 メンバー | CL: 山田 明 SL: 吉田 明和 津田 廣一 町田 修 金子 清 天野 広 |
| | | 報告日 | 04/22 | | |
| 山 域 | 両白山地系 | 山行日 | 10年04月10日(土)~ | | |
| 山 名 | 能郷白山(1617m) | | 04月11日(日) | | |
| 山行目的 | 雪山を楽しむ、合宿前の訓練 | | コースタイム(天候:天気図記号) | | |

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者



| | |
|---|---|
| 04/10 曇り 18:15 NI 駐車場発 関広美インター経由 (東海環状) 21:15 薄墨公園着 21:20 テント設営 21:50 小宴会(花見) 23:20 就寝 | 04/11 雨のち曇り 04:30 起床 05:20 ゲート着 05:55 ゲート発 06:53 登山口着 07:05 登山口発 07:53 登山道入口着 08:53 一本(平な所) 09:30 前山 10:05 一本 10:42 能郷白山頂上 11:05 下山開始 12:05 一本(平な所) 12:45 一本(登山道入口) 13:30 登山口着 14:20 ゲート着 薄墨温泉 18:10 部室着 |
|---|---|

山行報告 どうやら夜中に雨が降り出したようだ。3月の経ヶ岳を思い出すが、浸水までは至っていないのが救いだ。テントを撤収しゲートにて準備後、林道歩行を始めるが途中から雨が段々強くなってきた。登山口に到着し最初の難関「渡渉」である。聞いていたより水量は少ない。靴を脱がずに慎重にわたるも、渡り終わるところで滑り水に浸かった。しかし濡れる事無く登山靴に感謝！氷河を思わせる雪を渡ると、そこから30分急登の連続で息が切れる。金子さんの「急なところは全然ないよ」の話は眉唾である。少し緩くなったところにピョクの可愛らしい「いわうちわ」が出迎えてくれた(蕾は女子中学生の様)。このあたりから積雪が続く。一本取った登山道入口でふきのとうを発見。1ピョク登った平らな場所で一本取り、振り返ると雲海が素晴らしい。雨も上がり、吉田君が報告書に書いてくれと言わんばかりに「山が我々を歓迎してくれている」と言う。前山を過ぎ、最後の急登ではザクザクと音をたて、テレビで見たような登山を思い出しながら一歩ずつ一歩ずつ足を進めると、頂上の白山権現社に到着。固い握手で登頂を祝った。写真を撮り、下山を開始するとガスってきた。「山を下る人の群は誰も無口でザクザク音を響かせる～」と心の中で口ずさみ、靴を滑らせながらどんどん下る。

町田・金子両氏は、ふきのとうを大量に収穫しとても満足そうである。津田さんが最後の難関「渡渉」で少し水に浸かるも被害は少ない。林道歩きも後半分の所で、私が左足の内転筋をつってしまった。大分疲れが来ているようだ。ゆっくり行くうちに収まりゲート到着。

リーダー所見 あいにくの天気でしたが、全員が無事登頂出来たので良かったと思います。今回の登山はアイゼンを使用しませんでした。雪山の急登下降、ナイフリッジがあり、雪山歩行の良い練習になりました。参加メンバーの殆どが春山合宿に参加するので、春山合宿に繋がる山行になったと思います。



確認
(リーダー)
10/05/05
山田
作成
(報告者)
天野
10/04/22
広

能郷白山 頂上